

仮想空間で英語の謎解きイベント

関西外国語大学との連携で、小中学生向けに2月 18 日開催

市は2月 18 日(土)に、英語を使って仮想空間内でゴールを目指す「枚方英語村 in メタバース」を開催する。枚方英語村は市内小中学生を対象に、英語のみをコミュニケーション言語として外国生活を疑似体験する環境を提供する取り組みで、市内にある関西外国語大学と連携して平成 30 年から実施している。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の現状を鑑み、オンライン上の仮想空間であるメタバース空間で実施する。自分のアバターを操作し、マップ上に現れる人物に近づくと、マイクとカメラを使って会話ができる仕様で、謎解きに必要なヒントを得ることができる。会話の相手は関西外国語大学の留学生が担当。ゴールにたどり着くためのヒントを英語で話し、日本人の学生ボランティアが会話のサポートを行う。

★参加者はパソコンから仮想空間にログインし、ロールプレイングゲームをプレイしているような感覚で自分のキャラクターを操作する。マップ上の登場人物に近づくと、オンライン会議システムのようにマイクとカメラをオンにして、英語で会話を行うことができる。会話の相手は関西外国語大学の留学生が担当し、ミッションをクリアするためのヒントを英語で話し、日本人の学生ボランティアが会話のサポートを行う。市立小学校で一人に一台配布しているタブレット端末からも参加できる。

★市では市内小中学校に英語教育指導助手を配置し、英語でのコミュニケーション力向上に取り組んでいる。枚方英語村は、市内の小中学生が日常生活で英語を使う場面や異国の文化や考え方を知り、自分たちとの違いを実感するような機会が少ない現状を踏まえ、学校で学習したことを教室外でも発揮できる機会をと関西外国語大学(平成 24 年 11 月 24 日に連携協定締結)と連携して平成 30 年から実施しているイベントである。

★「枚方英語村 in メタバース」では、英語でコミュニケーションをする目的・場面・状況を効果的に設定し、ワクワクしながら英語で話し、「習った英語が通じた!」「言えなかったことが言えるようになりたい!」「これからも学び続けたい!」という気持ちを高める効果が期待される。開催に向けて、令和 4 年 12 月から関西外国語大学の学生、留学生、市教育委員会事務局担当でプロジェクトチームを結成し、イベントの企画会議を定期的で開催してきた。プロジェクトチーム結成にあたって、学生ボランティアは「大学の教職課程で学んだ、子どもが楽しく英語を学ぶための教育法を実際に試してみたい」と意気込みを語った。市は、今後も小中学生の英語のコミュニケーション力を高めるための取り組みを進めていく。

<お問い合わせ> 学校教育部 学校教育室 教育指導課

☎ : 050-7105-8052 FAX : 072-851-9335